

自由設計班 2024

令和6年度の自由設計班は、「第30回みやぎ建築未来賞」という一般社団法人宮城県建築士事務所協会が主催する設計競技に取り組みました。

みやぎ建築未来賞にはグループで取り組み、宮城県教育長賞、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会会長賞を受賞することができました。

今年は「〇〇の家をつくる」というテーマのもと設計提案するものでした。どのような家进行設計し、それによってどのような効果が表れるのか、地域や環境をどのように考えるか、設定した場所や利用する人にとって建築に求められているものは何なのか、と考える事が多く、課題にどう取り組むのか悩む姿が多く見られた課題でした。

それぞれが進路活動などと並行しながら、情報収集や現地調査、グループの中でコンセプトを練り上げ、スケッチやパースの作成など相手にどう伝えるか試行錯誤しながらですが充実した内容の作品をつくり上げることができました。

みやぎ建築未来賞は県内の工業高校や専門学校生徒も参加する設計競技のため、普段の学校生活では得られない雰囲気や、他校の発表から「こんな提案もあるのか」という新たな発見の場にもなったと思います。なにより、このような発表の機会は今後の進路先でも生かしていける、良い経験となりました。

《令和6年度 自由設計班メンバー》

| | |
|-------------|--------------|
| No.04 及川 紗矢 | No.05 大内 楓翔 |
| No.06 大鐘 麗奈 | No.17 佐々木優莉奈 |
| No.18 菅原 七星 | No.22 高橋 りあ |
| No.23 千葉 琥珀 | No.24 千葉 颯太 |
| No.26 千葉 莓香 | No.32 平吹 七翔 |
| No.34 三浦 彩羽 | No.36 渡辺瑛璃奈 |

担当教員： 五十嵐 拓也 八戸 美枝



■■■■■■ 指導者コメント ■■■■■■

今年度の自由設計班も、しっかりとこだわりを持って取り組むことができていました。自ら課題を解決しようとする姿は、とても頼もしいものでした。建築は「人間生活に欠かせないものであり、夢のある場所」ということを念頭において、これからの進路先でも建築としっかり向き合ってください。 【担当 五十嵐 拓也】

今回の課題に取り組むにあたり、「こんな家があったら楽しいかな?」「今の時代、どんな家が必要かな?」等、様々な家の在り方を学べたと思います。今後も自分の考えで誰かのために考え、行動する事の大切さを持ち続け、社会で活躍してください。 【担当 八戸 美枝】

2024 自由設計班 作品一覧

| 氏名 | タイトル | 主催団体・テーマ |
|---------------------------------------|-----------------------|---|
| 大鐘 麗奈 千葉 苺香 佐々木 優莉奈 | あきない家 | <p>一般社団法人 宮城県建築士事務所協会主催 第30回 みやぎ建築未来賞2024 2024年11月20日(水) 会場：パレスへいあん</p> <p>「〇〇の家をつくる」</p> <p>【受賞作品】</p> <p>●宮城県教育長賞 成長する家</p> <p>●(一社)日本建築士事務所協会連合会会長賞 夜更かしが楽しくなる家</p> |
| 大内 楓翔 千葉 颯太 平吹 七翔 | サブスクの家 ～空き家の新しい価値～ | |
| 及川 紗矢 高橋 りあ | ほんによ集合住宅 | |
| 千葉 琥珀 三浦 彩羽 | 成長する家 | |
| 菅原 七星 渡辺 瑛璃奈 | 夜更かしが楽しくなる家 | |
| <p>12月以降 「牧之原市 市政施行20周年記念ロゴマーク」作成</p> | | |

あきない家

空きない
飽きない
商い

近年、空き家の数が増えているところが問題になっている。これ以上空き家を増やさず、さらにその地域に住みたいと言う人が増えるような家を3つの『あきない』を基に計画した。



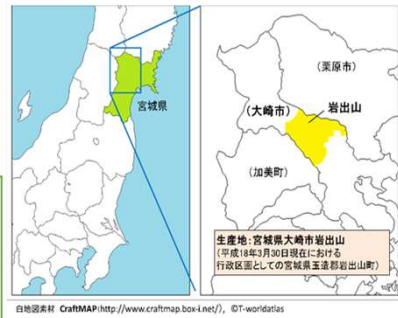
出典：https://ja.wikipedia.org



出典：https://map.yahoo.co.jp

場所
宮城県大崎市岩出山 池月

敷地
敷地周辺にはあ・ら・伊達道の駅や、池月駅、コンビニエンスストアなどがあります。また、周りには田んぼが広がっています。



白地図素材 CraftMAP(http://www.craftmap.box1.net/), ©T-worldatlas



あ・ら・伊達道の駅

出典：https://www.ala-date.com/

大崎市の現状

大崎市の人口増減（平成28年～令和2年）

| 地域 | 古川 | 松山 | 三本木 | 鹿島台 | 岩出山 | 鳴子温泉 | 田尻 |
|-----|------|------|------|------|--------------|------|------|
| 総人口 | -756 | -495 | -404 | -712 | -1049 | -920 | -961 |

➡ **岩出山の人口減少数が一番多い！**

岩出山は私たちが住む大崎市の中でも平成28年～令和2年の間での**人口減少数が一番多く**、古川に続いて平成29年～令和2年の**空き家増加数が二番目に多くなっています。**

そこで私たちは日本一の道の駅「あ・ら・伊達道の駅」がある岩出山池月に注目し、池月駅に近い空き地に計画しました。

大崎市の空き家増減（平成29年～令和2年）

| 地域 | 古川 | 松山 | 三本木 | 鹿島台 | 岩出山 | 鳴子温泉 | 田尻 |
|-----|-----|----|-----|-----|------------|------|----|
| 増減数 | 254 | 65 | 5 | 61 | 107 | 57 | 60 |

➡ **岩出山の空き家増加数が二番目に多い！**

提案

私たちは「あきない家」というテーマをもとに岩出山池月にある空地に家を設計し、3つのあきないを目標に掲げました。住宅のほかに地産地消カフェを設け3つのあきないに該当する「住宅兼カフェの家」を建築するプランを提案します。

3つのあきないとは

3つのあきないとは「空きない」「飽きない」「商い」です。それぞれ、
 「空きない」→空き家にならない家
 「飽きない」→場所・家・空間として飽きない家
 「商い」→商売をする家
 という意味があります。



平面図

小上がりを設けリビングや寝室だけでなく他にも居場所ができるようにしました。

中庭はプライバシーの保たれた庭になるだけでなく、家中に光と風を導くことができます。そのため、家族との憩いの場として使う場合には、タイル張りやウッドデッキにして在宅ワークの気分転換をしたり、休日に家族でゆっくり過ごしたり、様々な使い勝手があります。

交流スペースにキッズスペースを設け、子供達も楽しめる空間にしました。



吹き抜けを設けることで、より広々かつ開放的なカフェになります。



2階

水耕栽培スペースでテラスなどの植栽体験ができます。

1階

スキップフロアバース



店内イメージ

出典：https://www.kankyoryokka.com/case/nido-by-honey-bee-project/



テラスイメージ

出典：https://rurubu.jp/andmore/article/5570



外観イメージ

出典：https://www.kamakurastudio.com/

「飽きない」の工夫

私たちは「飽きない」の工夫としてカフェが毎年・春夏秋冬で違うコンセプト、植栽体験などを考えました。

・毎年、春夏秋冬で違うコンセプト

春夏秋冬それぞれ旬の野菜や果物を使ったメニューを提供します。

- 例：春→桜ロール
夏→夏野菜カレー
秋→月見フェア
(団子、さつまいも料理など)
冬→鍋料理

季節の食べ物



出典：https://www.shufoo.net/plus/shopping_tips/159

・植栽体験

水耕栽培、外の畑を利用し植栽体験を提案しました。水耕栽培ではレタスや大葉などの葉物野菜、外の畑ではさつまいも掘りなどができます。

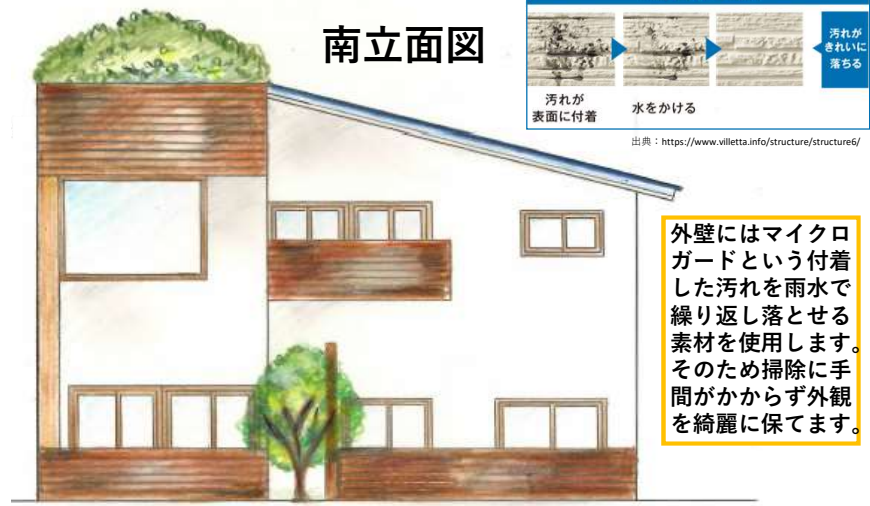


出典：https://gardenstory.jp/gardening/48647



出典：https://feature.coze.jp/68358

南立面図



出典：https://www.villetta.info/structure/structure/6/

外壁にはマイクロガードという付着した汚れを雨水で繰り返し落とせる素材を使用します。そのため掃除に手間がかからず外観を綺麗に保てます。

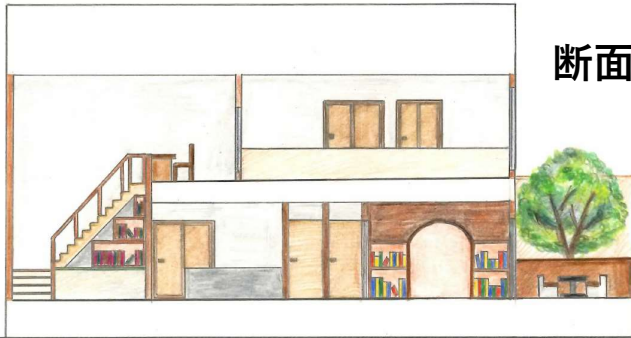
窓を多くするメリット

- ・晴れた日は日当たりが良くなり、部屋が明るくなる。
- ・寒い季節でも太陽の光で暖かく過ごせる。
- ・風通しがよくなるため洗濯物が乾きやすくなる。
- ・外の景色や庭の風景を楽しめる。



出典：https://www.sekisuhouse.com/architect/exa27.html

断面図



西立面図



エコラット

エコラットとは室内空間の室長効果や脱臭効果をもつ室内タイルです。カフェで生じた匂いを気にならなくなります。



出典：https://www.ecorarat.jp/cases/

水耕栽培

・水耕栽培とは？

水と空気と肥料だけで、植物の生理機能を活性化させるようにしたものです。一般的な土耕栽培は土に虫がつきやすく、害虫駆除が必要ですが、水耕栽培ならそのような手間がありません。また、除草や土づくりに労力を割かなくて良いのも魅力です。水耕栽培は、室内の小さな空きスペースを活用して栽培することも可能です。

・栽培できるもの

水耕栽培に最も向いているのは、すぐに収穫できる葉物野菜です。例えば、レタス、サンチュ、サラダ菜、水菜、春菊、ルッコラ、大葉などがあります。とくにレタス、サンチュ、大葉は種から育てても非常に簡単に収穫できるので、あまり手間がかからず栽培することができます。

水耕栽培で栽培できる葉物野菜は約70種類！

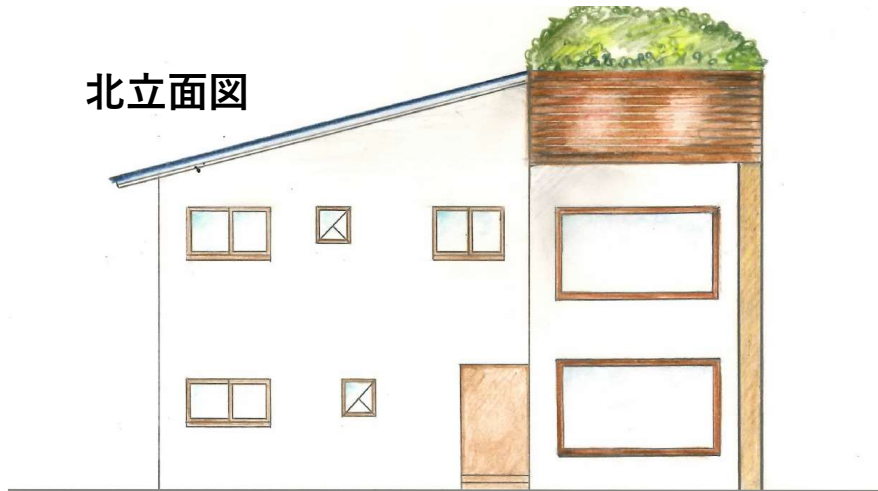


出典：https://www.asahilogistics.co.jp/blog/post-15869/

水耕栽培スペース

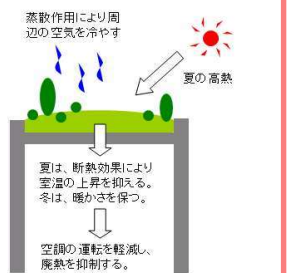


北立面図



屋上緑化

屋上に緑を植えることで植物による日照の遮へいや土壌による断熱効果で、夏は建物内への熱の侵入を抑え、冬は熱を外に逃がさないため、空調の消費量を抑制することができます。また、紫外線や酸性雨によるダメージを低減し、急激な温度変化による膨張や収縮を抑えることができるため建物の耐久性を高めることもできます。



出典：https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kuurashi/kankyoy/ondankataisaku/ryokka/okujoryokka.html

結論

今回、私たちは「あきない家」を計画することで、多くの人に岩出山の魅力を知ってもらい、観光客や地域住民の方にこれからも住みたい・住み続けてもらうことを目標としました。また、空き家が増えずに地域や環境に優しい建築が増えていくことを願っています。

サブスクハウス

～空き家の新しい価値～



01 空き家問題

近年、日本では**空き家問題**が深刻な社会的・経済的な課題として注目されています。この問題にはさまざまな要因がありますが、主なものとして**少子高齢化**と**都市への人口集中**があげられます。

まず、**少子高齢化**の影響が大きいです。若い世代が都市に移り住む一方で、高齢者が住み続けている住宅が多く、相続後に空き家となるケースが増えています。

次に**都市への人口集中**も問題です。若者が都市に移動する一方で、地方の過疎化が進んでいます。このため、地方の住宅は空き家となり、地域の活力が失われています。

空き家は地域社会にも多大な影響を及ぼします。**見た目の問題**だけでなく、**防犯や衛生面**でもリスクが高まります。また、空き家が放置されると、**治安が悪化**したり、**害虫や害獣の巣**になることがあります。

空き家問題は、地域社会全体に影響を及ぼす重要な課題であり、これに対する**効果的な対策**が求められています。



02 サブスクな家

《定義》

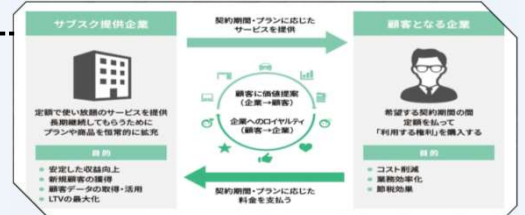
定額料金を支払うことで、一定期間、住居を利用するサービスのことです。料金を支払えば、その運営会社が管理している物件から好きな物件を選んで自由に住むことができます。

《特徴》

サブスクな家は**自分の好きな期間**だけ契約でき、また、様々なプランがあるので自分に合ったプランを選択することができます。費用面では従来の賃貸住宅とは異なり、敷金や礼金などの**初期費用がかかりません**。また、定額料金には水道光熱費やインターネット利用料なども含まれるため、シェアハウスやマンションと比べて、**ランニングコストを節約**できます。現在では、戸建てのサブスク住宅も存在し、シェアすれば格安で利用できます。一方で、契約期間中はそのサービスを利用していなくても料金を支払わなければならないため、賃貸住宅と比べて、**長期間住むと費用が高くなる**場合があるので、**入居者がその住宅を気に入れば購入**することができます。契約期間は、1ヶ月から利用可能なので、短期間の住居を探している人に向いています。手続きでは、契約書の作成や保証人が必要な賃貸住宅とは異なり、サブスクな家は**スマホ一台で手続きが完了**します。また、**契約更新や解約も簡単**です。家具はソファやテーブルなどのヴィンテージ家具が揃っているので、賃貸住宅のように自分で用意する必要がなく、**引っ越しなどの手間が省けます**。通常の賃貸の場合、新しい場所に住むためには撤去して新規契約というプロセスが必要です。その度に敷金や仲介手数料の支払いが発生し、手続きも煩雑です。また、住む土地によって家賃が大きく変わります。一方、サブスクであれば利用料金を支払うことでその企業が管理する全国の物件に自由に引っ越しすることができます。

《サブスクと賃貸の違い》

サブスクな家は通常の賃貸とは異なり、契約期間というものがなく、一定額を毎月支払うことによって**自由に移動が可能**となります。つまり、サブスク賃貸を提供している会社の対象物件に、自分自身のライフスタイルに合わせて自由に住まいを選ぶことができるということです。他にも、転勤が多い方にとっては身軽に生活が始められたり、敷金や礼金、更新料が掛からず、光熱費なども定額料金に含まれているため、**安く引っ越すことができます**。



03 提案

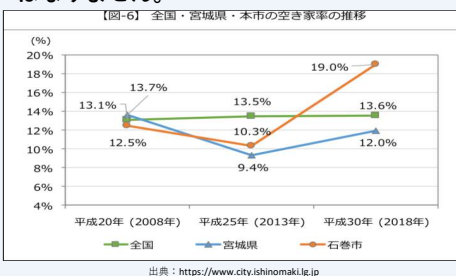
そこで私たちは、「**サブスクハウス～空き家の新しい価値～**」というテーマのもとに石巻市・仙台市・大崎市の空き家をサブスクな家として**リノベーション**し、宮城県の空き家問題の解決に貢献しつつ、地域の魅力を伝える新しい住まいの形を提案します。そして、住む人々にとっても地域の人々にとっても価値のあるプランを実現します。

04 現状

—石巻市—

石巻市は水産業が発達している地域で東の海には三大漁場の一つと呼ばれる「**金華山沖**」があり、豊富な海産資源があります。また、石巻魚市場は「**世界一長い魚市場**」としてギネス世界記録に認定されました。

しかし、石巻市の人口は**少子高齢化**により1990年以降、減少し続けています。加えて**東日本大震災**の影響で**人口減少**が加速しました。**少子高齢化**による**人口減少**や首都圏一極集中を是正するため、地方移住施策に力を入れて再び賑わいを取り戻さなければなりません。

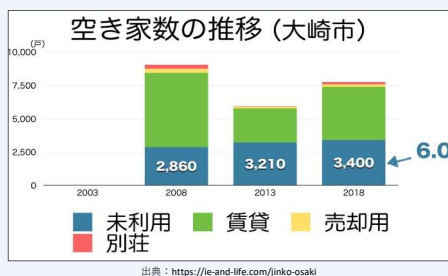


05 現状

—大崎市—

大崎市は自然豊かな地域で、鳴子峡は壮大な自然美を楽しむために多くの人々が訪れます。また、大崎耕土は世界農業遺産に認定されています。伝統工芸品である鳴子こけしは外国人観光客からも人気があります。

しかし、大崎市の人口は**減少傾向**にあり、人口の集中する市中心部とそれ以外の地域との差がますます顕著になります。また、**高齢化**の進展により、一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加し、結果的に住宅の**相続問題**につながってしまいます。

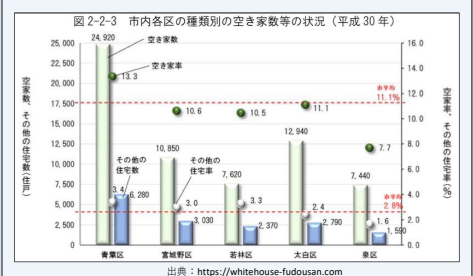


06 現状

—仙台市—

仙台市は、東北地方の政令指定都市であり、「**杜の都**」として多くの人々に愛されている魅力的な都市です。また、年間を通じて、「**仙台七夕まつり**」や「**仙台台のページェント**」など、多くの祭りやイベントが開催されます。

しかし、**高齢化**に伴う**人口減少**で、空き家問題が深刻化してきています。空き家が放置され続ければ、街の景観が損なわれ、「**杜の都**」のイメージからかけ離れてしまうのではないのでしょうか。

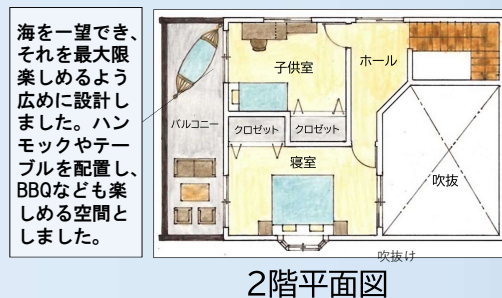




Before



After



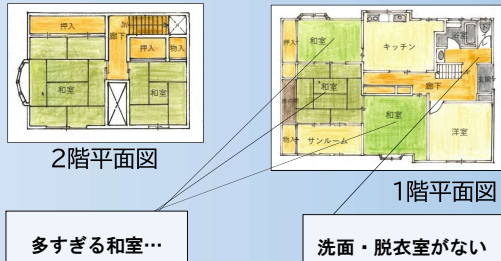
キッチンの配置に違和感があったため、より快適な動線を考慮し、場所を変更しました。



災害時の物入として利用

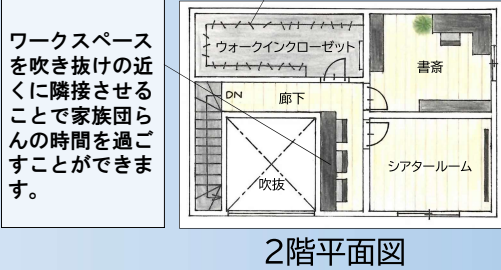


Before



After

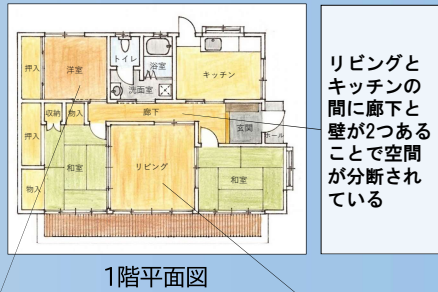
広々としたウォークインクローゼットを設けることで住宅の機能性を向上させました。



キッチンしかなかったため、リビングと一体化させて広々とした空間にしました。



Before



4.5畳の狭い寝室

近くの集合住宅の影響で部屋が暗そう…

After

無駄な物入や押入を撤去し、寝室をより広く快適な空間にしました。

リビングとキッチン間にあった2つの壁を取り除き、空間をつなげることで、より行き来しやすいレイアウトにしました。



近くの集合住宅により日当たりが悪くなると考え、天窗を設けることで上からも自然光を取り入れ、明るい空間を実現しました。



これらの提案により、石巻市・大崎市・仙台市の空き家問題の解決に貢献し、地域が活性化されることを目標としました。また、このプランをモデルとし、石巻市・大崎市・仙台市だけでなく、日本中の空き家もリノベーションなどによって地域が活性化され、日本の空き家問題が解決されることを望んでいます。

ほんによ



集合住宅

計画地

栗原市の魅力は面積の8割を占める森林や原野、田畑が織りなす**豊かな自然**です。四季折々に姿を変え、人々の目と心を魅了します。また、祭りなどの行事も豊富で地域一体となって楽しむことが出来ます。さらに、株式会社宝島社出版の「田舎暮らしの本」で行われている「住みたい田舎ランキング」では、人口5万人以上10万人未満の部門で全国**総合1位**に東北エリアでは3度目の**1位**に輝きました。

私たちが今回選んだ場所はその栗原市の瀬峰にある**定住応援下藤沢住宅**です。この住宅の魅力は子育て支援があるとことと交通の便がいいところです。最寄りの瀬峰駅からは徒歩6分で、保育所や幼稚園、小中学校に近いです。また、スーパーやホームセンター、病院もあり**子育てに適した環境**になっています。



現状の問題点

子育て支援の住宅だが予算の都合上、子供の遊ぶスペースが確保されておらず、駐車場でボール遊びやキックスケーターで走り回っているという状態になっています。それにより、**事故**のリスクや子供が停車中の車に**衝突し怪我や故障**といったトラブルが実際に起きています。また、近くに公園や遊ぶ施設がないため、必然的に外で**体を動かす機会**が**減少**している傾向にあります。その他にも、家の裏に隣接するように開拓前の森が広がっているため夏場は**虫**の被害が多く、さらに森が**影**となり1年中日の光が入りにくくなっています。その結果、**湿気**がこもり**カビ**などに悩まされています。また、3つの家がかっついて1つの大きな建物になっているので**騒音問題**のクレームや隣人間での**トラブル**など、子育て支援を掲げているが実際は小さい子供のいる家庭はとてもしみずらい住宅となっているのが現状の問題点として挙げられます。創設当時は入居者希望数が多く、抽選という形で入居者を決定する方式でした。ですが今となっては、入居希望の人はすぐ入ることができ、空きも数か所出しています。小さな子供がもういない家庭が未だに住み続け、本来の対象家庭は**2〜3年**もたたずに**退居**し、次の入居者が来ることもなく**空き家**と化しています。

提案

そこで私たちは「ほんによ集合住宅」というテーマをもとに定住応援下藤沢住宅を**リノベーション**し、入居者が絶えぬ子育て支援住宅〜瀬峰の活性化を目指して〜という目標を掲げ、家の間取りを子供も大人も住みやすい形に設計し、家の配置を変え、後方の森林を開拓し公園の造設をする大規模リノベーションプランを提案いたします。

モデルプラン

二階建ての住居は一階に広い縁側を設け、道に沿って2軒の住居が向かい合うように配置します。道なりに沿って住居の後方に公園の遊具を配置し、公園の中心部となる場所に切り株をモチーフとした円形の室内砂場を設けました。遊具のデザインも**自然と調和**を意識し、切り株を中心に広がっている森をイメージしました。

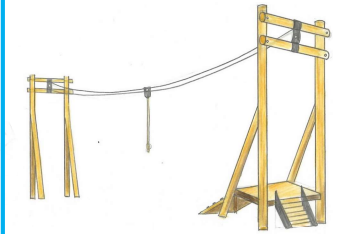
Before

After



ほんによ公園案内板

うつきーろーぷ



ふらここ



ほんによすべり台

タイトルにもあるねじりほんによを模したすべり台



出典 <https://www.google.com>

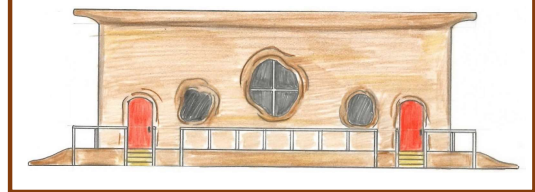
まるたすべり台

すべり台の反対側から突起をつかんで坂を上っている



きりかぶはうす

切り株を模した屋内砂場
雨天時でも遊べる

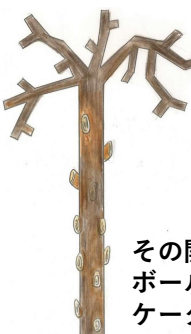


やすみたいダケ



キノコを模した休憩スペース
休むもよし
子供を見守るもよし

もくもくのぼり棒



子供の体力がつく
開けたスペースを囲うように配置

その開けたスペースでボール遊びやキックスケーターが出来る

はなはなすべり台

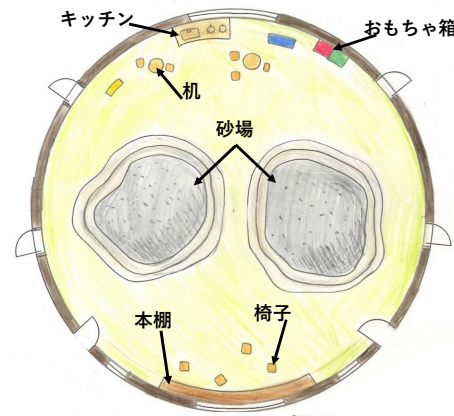
野花をイメージ階段を上ったところの複数の花は回して遊べる



ふたばシーソー

発芽をイメージしたシーソー





の 平面図

室内は、木材を基調として柔らかく優しい雰囲気仕上げました。
出典：<https://www.google.com>

保護者の交流の場としても活用してほしいという願いを含め、砂場の側面に椅子や階段として利用できる段差を設けました。その段差分砂場が床より下がっているため周りに砂が飛び散らなくなっています。前方には本棚があり、ゆっくりと過ごしながら豊かな感性を育めます。後方にはおもちゃや木製のキッチンがあり、おままごとなどの遊びができるようになっています。



滑らかな曲線の窓枠に色とりどりのタイルを埋め込みました。
出典：
<https://www.nta.co.jp/media/tripa/articles/9sdK4>



LDKの一角を吹き抜けにすることで、よりたくさん光を取り入れ明るい家を実現しました。
出典：<https://www.google.com>

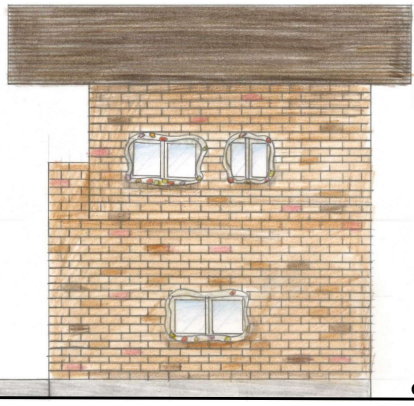
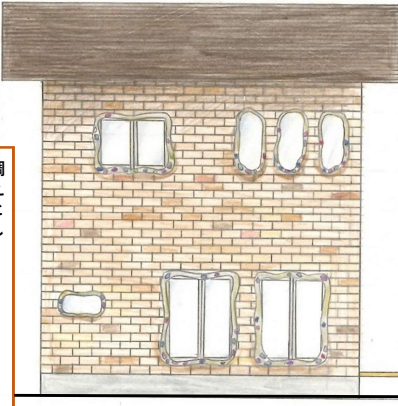
A棟東立面図／B棟西立面図

A棟東断面図／B棟西断面図

栗原市の木材を使用しています。
出典：<https://www.google.com>

外壁は全て茶色のレンガ調で統一し、日本では味わえない外国の市街地を彷彿とさせるようなデザインにしました。
出典：<https://www.google.com>

向かい合っている家の間にアーチとして、木のオブジェを立てます。
出典：<https://www.google.com>



プライバシー確保のため、向かい合わせの住宅の玄関の位置をずらした大窓の位置もずらして配置しました。

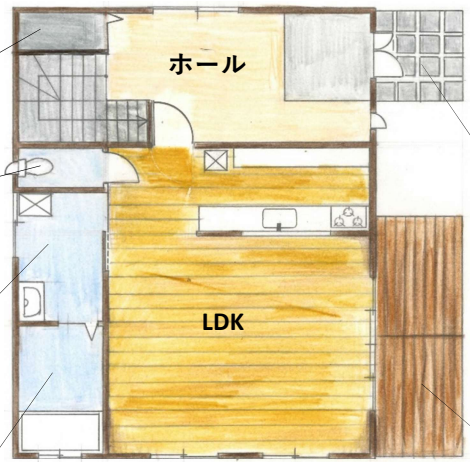
向かい合わせの家の中心に公園までつながっている道を作り、テーマパークのような楽しさと住居らしさを感じさせないようにしました。
出典：<https://www.google.com>

A棟南立面図

B棟南立面図

クローゼット

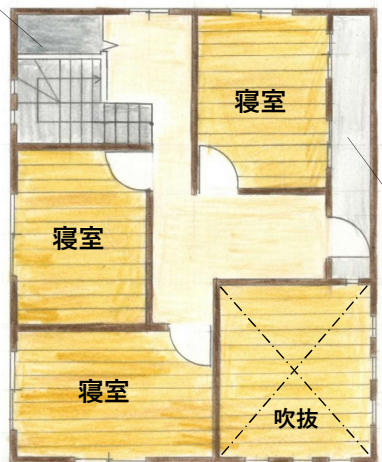
物入れ
トイレ
脱衣室
洗面所
お風呂



より開放感を出すため、大きな窓とウッドデッキを設置しました。

ウッドデッキ

平面図



大きなクローゼットを設けることで、各部屋の広さを実現しました。

バルコニー

2階平面図

結論

これらの工夫により空き家が無くなり、住居者がより子育てしやすい住宅を目標としました。住居者の入れ替わりにより、栗原により多くの人が移住するとともに栗原の魅力を感じてもらえる良い機会になってほしいと願います。



出典：<https://www.google.com>

成長する家



南立面図

仙台の青葉通地下道でホームレスの方々を目の当たりにし、衝撃を受けました。それと同時に彼らの中には、働けそうな人が多くいることに気づきました。私たちは、その中でも「働きたいのに働けない人」に注目しました。

ホームレスの実態～働きたいのに働けない人～

厚生労働省の調査によると日本のホームレスは年々減少傾向にあるものの、2024年1月時点で2820人(うち男性2575人、女性172人、不明73人)おり、ホームレス状態になった背景は様々で、その中でも、**就職したいが仕事がなく野宿生活を余儀なく**されている人が多くいます。その要因として、ホームレスは住所が不定で身元確認ができないため、就職が難しいのです。つまり、「**働きたいのに働けない人**」が多くいるのです。



出典:<https://news.goo.ne.jp/>

子どもの貧困率～食生活が不安定な子供たち～

日本は先進国でありながら「**子どもの貧困率**」が高く、社会問題になっています。実に**7人に1人**といわれており、先進国の中で最低のレベルです。学校が終わった後、1人きりの家で過ごし、食生活が不安定・不規則になったり、孤食(家でひとりで食事をする状態)の頻度も多く、こういった現状が、子どもたちの心身の健やかな成長を阻害してしまうのです。

提案

そこで私たちは「**働きたいのに働けない人**」に働く機会を与え、自立の手助けをすると共に、食生活を豊かにするための「**こども食堂**」を提案します。



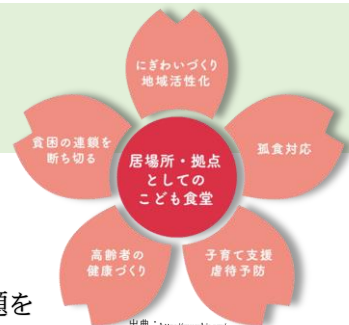
出典：<https://musubie.org/kodomosyokudo/>

こども食堂とは

子どもが一人でも行ける**無料または低額の食堂**です。目的も、おなかをすかせた子どもへの食事提供から、孤食の解消、地域交流の場づくりと、さまざまで、生活に困窮している家庭の子どもだけに食事を提供するわけではなく、**どんな子どもでも参加できる**、ユニバーサルな取り組みです。実際には、子どもの保護者や地域の高齢者なども参加して一緒に食事をしていることもあります。

こども食堂の5つはたらき

子ども食堂は、主にこの**5つ**価値を持ちます。5つの価値以外にも、「地域課題を地域住民が発見すること」「地域の防犯・防災に役立つこと」「女性の活躍の場になる」などの価値が見出されています。



出典：<http://musubie.org/>

「にぎわいづくり・地域活性化」 「孤食対応」
「子育て支援・虐待防止」 「高齢者の健康づくり」
「貧困の連鎖を断ち切る」



出典：<https://musubie.org/kodomosyokudo/>

敷地

仙台市はホームレスが一番多い地域とされているため、支援の必要性が高まっています。また、子ども食堂も経営するにあたり、人口が多く人が集まりやすい仙台を中心に考えました。

建設予定地

私たちのプロジェクトは、仙台市青葉区下愛子字月橋に位置します。仙台で人口が多い地域である青葉区という点と、駅が近い点を踏まえてここに選定しました。

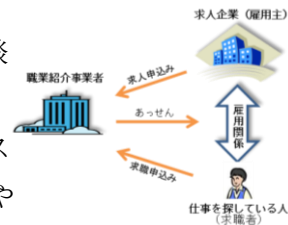


ハローワークとの提携

私たちは、働きたくても働けないホームレスの方々に仕事を提供するための取り組みを進めています。その一環として、子ども食堂での就業機会を設けて社会との関わりを持ち、自立への第一歩を手助けします。

提携

ハローワークと提携し、就職相談や職業訓練、その人に合った仕事を提供します。施設内には、情報スペースを設け就職に必要な資料やパソコンなどの機材を設置します。



出典：https://www.mhlw.go.jp/

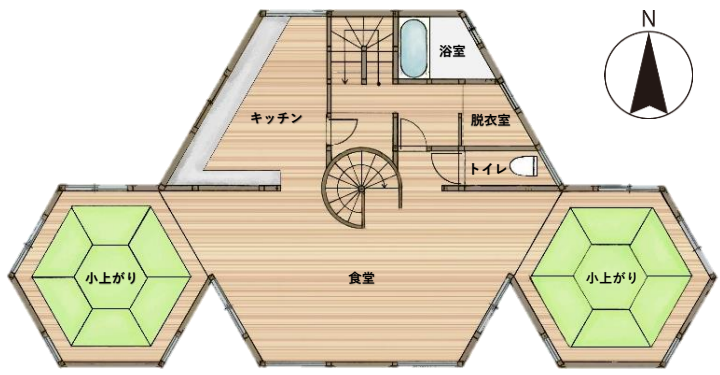
成長する家のモデルプラン

住宅は二階建てになっており、一階はこども食堂、二階は従業員の居住スペースとなっております。木々のような外観です。

・左右の部屋は子どもが遊んだり勉強したりして自由に過ごせるスペースです。また、畳が敷かれているため、家に帰れない子どもが宿泊することも可能です。



出典：https://www.re-port.ne



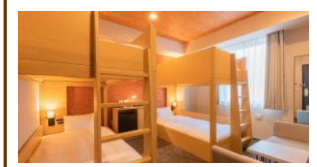
一階平面図

・中央の部屋はこども食堂となっており食事だけでなく勉強など自由に過ごせます。また、子供だけでなく一般の方々も食事をすることができます。

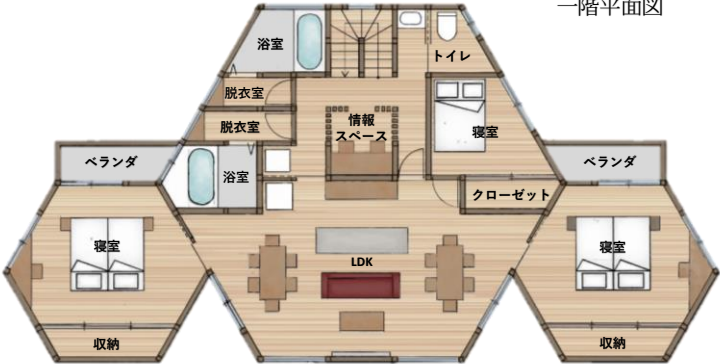


出典：https://toyonaka-ikotto.net/

・従業員と経営者の居住スペースとなっております。男女それぞれの浴室や寝室が完備されていて、快適な生活ができます。



出典：https://www.ozmall.co.jp/



二階平面図

・情報スペースはホームレスの方々の就職支援のためのパソコンや資料が整備されています。壁ではなく、格子状の仕切りになっているため開放的です。



出典：http://blog.livedoor.jp/



断面図

壁面緑化は見た目も爽やかで、人々に安らぎと心地よさを与える効果があります。そのため、広く利用されているオオイタビを用いました。



玄関



出典：https://www.city.ibaraki.osaka.jp/

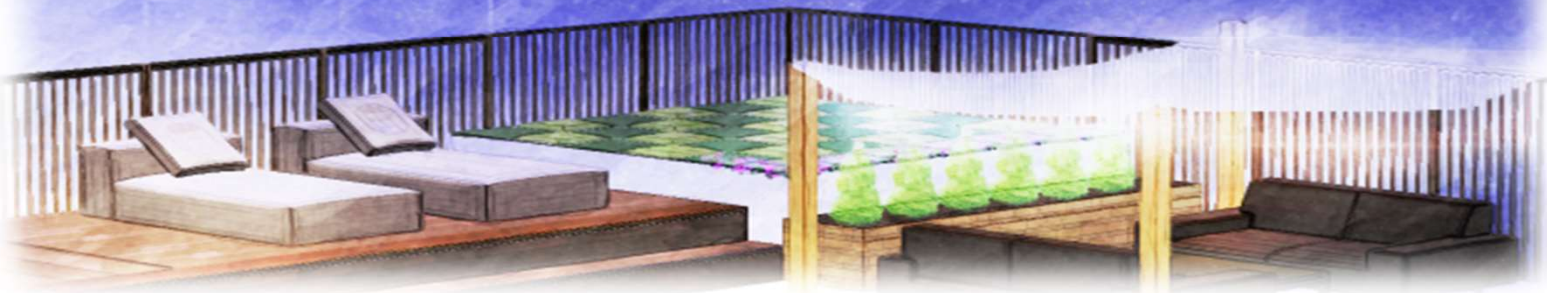


出典：https://mori-naka.jp/

結論

この取り組みは、地域の絆を深め、誰もが尊重される社会を築くためのものです。ホームレスの方々が再び自信を持ち、社会の一員として活躍できるよう今後も社会全体での支援活動が増えていくことを望んでいます。

夜更かしが楽しくなる家



01 夜活について

ここ何年かで人気を集めている「朝活」とは、いつもより少し早く起きて趣味や勉強の時間にあて、より充実した生活を目指すライフスタイルです。しかし、朝方が理想的といわれる中、仕事や家事、子育てに追われ夜しか時間がないという人は少なくありません。毎日を穏やかに過ごしていくためにも、寝る前の少しの時間は「自分のため」に使いたいという人は多いと考えました。そこで私たちは、一日の締めくくりである夜の時間を大切に過ごすスタイルである「夜活」に目を付けました。寝る前の時間は、より良い眠りを導いてくれるためにも大切な時間になります。ゆったりとした気持ちで「自分を大切に」時間を少しでも作ると、自分自身をリセットできるだけでなく、次の日を気持ちよく迎えられることにも繋がります。また、夜は仕事から帰ってきた親と学校から帰ってきた子供たちが一緒に過ごせる時間でもあります。私たちは、夜に家で過ごす時間を家族と楽しく過ごしたり、自分を癒せる時間にしたいと考えました。

02 建設予定地

宮城県刈田郡七ヶ宿町にある空き家をリノベーションしようと考えました。この敷地の周辺には住宅が多く、移住してくる際、地域の人と交流をしながら、地域に慣れることができると考えました。また、七ヶ宿立七ヶ宿中学校や関保育所が近くにあり、1キロ圏内には七ヶ宿小学校もあります。



出典：<https://www.google.com/maps/>



出典：<https://www.google.com/>

04 現状

現在七ヶ宿町は、**東北一人口が少ない町**となっています。七ヶ宿ダムの建設により昭和57年までに水没した**158世帯**、その**約9割が町外に移転**したことが過疎化現象に拍車をかけました。



現在の人口は、**1,223人**（2024年9月30日）と人口減少が目立ってきています。また、若年層の町外流出により、**少子高齢化**が進んでいることや、**第一次産業の衰退**、**田畑の荒廃**、**空き家の増加**、**医療問題**等の問題を抱えています。近年では、集落の組織、機能を維持していくための担い手の確保が大きな課題となっています。

また、第一次産業が衰退している一方で七ヶ宿町に住んでいる住民の多くが、**農業と建設業の職に就いている**ことが分かり、その理由は、七ヶ宿町の就職先にその二つの職種が多いからだと分かりました。



出典：<https://town.shichikashuku.miyagi.jp/>
<https://shichikashuku-miyagi.co.jp/>

06 農業・建設業のメリット

農業の仕事のメリットは、通勤時間が0であり、野菜がたくさん食べられ、収入が安定するだけでなく、時間に融通が利くため子育てがしやすいということが挙げられます。

建設業の仕事のメリットは、収入が多いことや、2024年4月より残業規制改定によりプライベートが充実するということが挙げられます。

➡ **子育てを行いながら働きやすく、就職先が多いため就職しやすい**

03 七ヶ宿町について

七ヶ宿町は蔵王連峰の南麓、宮城県の最南西部に位置し、福島・山形の両県と境界を接し、奥羽山脈の東南斜面の一角を占め、周囲91kmにおよぶ自然環境に恵まれた町です。町のほぼ中央を東西に白石川が流れ、これに沿うように集落が形成されています。地域の大部分が自然環境に恵まれて、青い空と四方の山々とが美しく調和しています。

冬は**スキー場でウィンタースポーツを楽しめる**ことはもちろん、七ヶ宿町にはゲンジボタル、ヒメボタル、ヘイケボタル、クロマダボタル**4種類のボタルが生息**しています。例年6月の下旬から7月中旬頃に闇夜に光が泳ぐ姿は幻想的です。また、七ヶ宿町は星が綺麗なため、夜に**満天の星空**を眺めることもできます。



出典：<https://town.shichikashuku.miyagi.jp/>

長老湖



出典：<https://surfsnow.jp/>

七ヶ宿スキー場



出典：<https://snct-astro.hatenadiary.jp/>

七ヶ宿町の星空

子育て支援も充実しており、子育て世代の親子が暮らしやすくなっています。なんと七ヶ宿町の信号機は1つしかなく、その1つは交通量多いからという理由ではなく、子供たちが信号機を知らずに育ってしまうという危機感から作られたという、子供に優しい町でもあります。



出典：<https://minkara.carview.co.jp/>

七ヶ宿町にある信号機

05 人口減少と少子高齢化

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今から16年後の令和22年（2040年）の七ヶ宿町の人口は、現在の人口の**ほぼ半分にあたる871人**になると見込まれています。

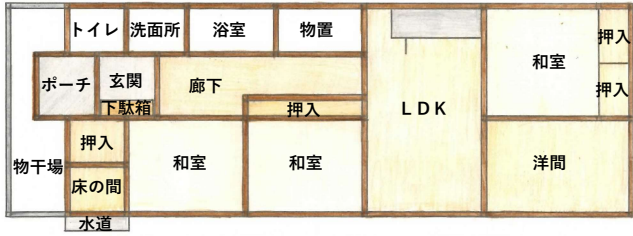
このままのペースで人口減少が続けば、**町の財政悪化**、**社会保障給付の増加**などにより現役世代を中心とした負担の増大が懸念されるほか、**公共交通の便数の減少**、**小売業の撤退**等で**買い物不便**になるなど日常生活を営むことが難しくなると予想されます。人口減少に歯止めをかけるためには、次世代を担う**若年層の増加**が重要です。

07 コンセプト

私たちは子育て世代の家族に七ヶ宿町に移住してほしいと思い、豊かな自然に囲まれた七ヶ宿町で生き生きと暮らせる家を設計したいと考えました。

過疎化が進む七ヶ宿町で、地域の担い手として、また、衰退している第一次産業に自ら携わることで地域を活性化させるだけでなく、仕事や学校を終え帰宅した親や子供たちが夜は家族の団らんの時間として家族全員で豊かな自然を感じながら、日々の疲れを癒せる「夜が楽しくなる家」へリノベーションを提案します。

Before



出典: <https://free-bath.co.jp/> / <https://saijoukensetsu.com/>

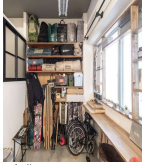
ヒノキには、香り・抗菌性・耐久性・断熱性・木目が美しいなどの特徴があります。ヒノキの香りを楽しみながら、お風呂でリラックスすることができます。1日の疲れを癒す至福の時間になります。

「夜更かしが楽しくなる家」のポイント

- 1. 快適なリビング・ダイニング**
→家族と共に団らんをしたり、深夜にこっそり夜食を食べたり、背徳感を得ることができます。
- 2. シアタールーム**
→大きな画面と音響でいつもとは異なる雰囲気を楽しめます。
- 3. 屋外スペース**
→星を見ながら天体観測をし、お酒を楽しむことができます。また、ハンモックでくつろぐなど、夜に充実した時間を過ごすことができます。

After

家の出入りが2つあると、プライベートと分けられることができ、使い勝手が向上します。



作業スペースは、窓から外を眺めることができ、より集中できる心地よいスペースです。

出典: <https://fudge.jp/>



子供の学校の準備物や作業などが増え、家の中が散らかり余計なストレスを溜めないために、大きな収納を設けました。

出典: <https://www.sommelier.nankaijplywood.co.jp/>



出典: <https://garden-h.net/> / <https://blog.goo.ne.jp/> / <https://ameblo.jp/>

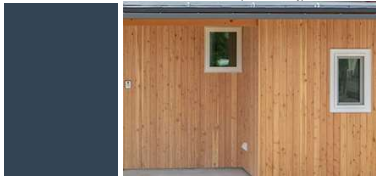
ルーフテラスは、星空を眺めるのに最適な空間です。家族と一緒に星を見上げると、心が癒され、家に帰りたくなるような温かさを感じることができます。季節に応じて、テントやプールを設置でき楽しみ方が多様です。また、バーベキューもでき家族で賑やかなひと時を過ごせます。

樺の木は、耐久性・美しい木目・加工性・吸湿性・色合いが特徴です。樺の木を外装に使用することで、自然な風合いと美しい木目、そして温かみを感じられるのが特徴であり、そしてルーフテラスとの見た目の相性も最適です。

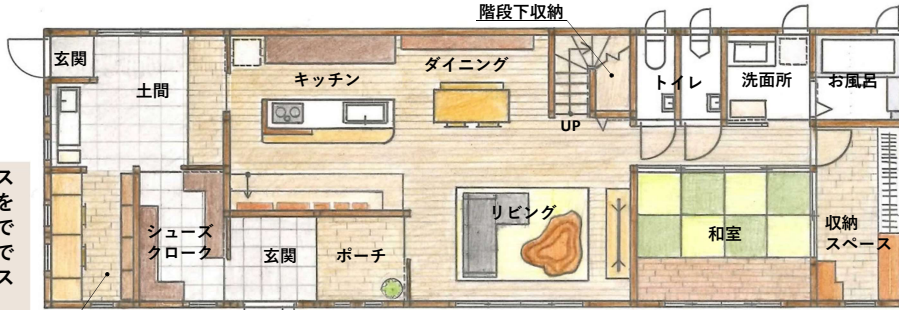


出典: <https://nuan.jp/>

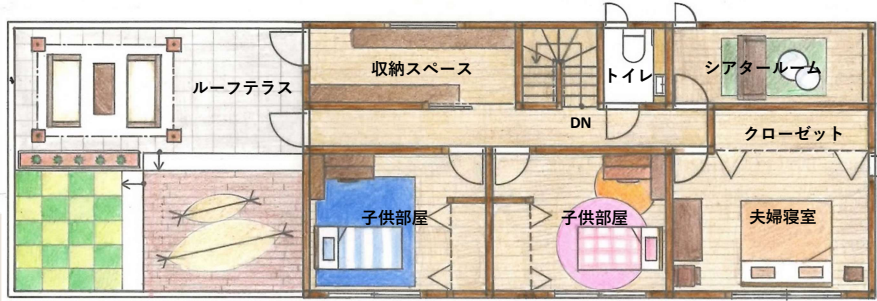
青鈍の色と木材の色でデザイン性の高い家になりました。バルコニーや玄関のドアなど一部を木材にし、青鈍の外壁に映えるようにしました。



出典: <http://www.premium-j.jp/> / <https://tsuchi-ken.com/>



1階平面図



2階平面図



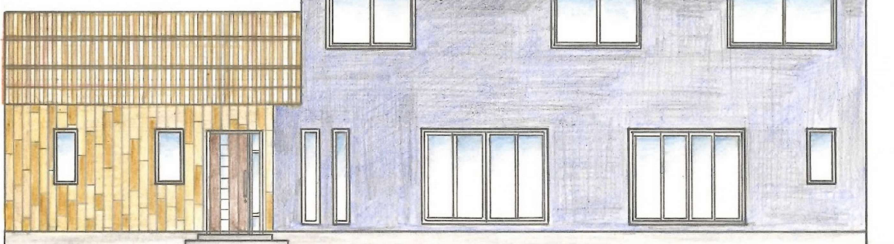
出典: <https://heritagehome.co.jp/>

シアタールームは、特別な日に家族と楽しむための素敵な空間です。疲れた時に一息つきたいときや友人を呼んで映画を見ることができます。



断面図

ルーフテラスの手すりを高くすることで、安全性はもちろんプライベート空間を保護しつつ、テラスの雰囲気を魅力的にしました。



南立面図

08 結論

今回、私たちは家族と一緒に過ごせる夜の時間を充実させ、自分のために時間を使い昼間の仕事の疲れを癒すなど、夜更かしが楽しくなる家を目指すことを目指しました。また、少子高齢化や空き家の増加など様々な問題を抱える七ヶ宿町に若年層を増やしていくだけでなく、地域の活性化のために働く親やその子供たちが、七ヶ宿町に住むことで七ヶ宿町の魅力を直で感じて充実した生活を送れることを目標としました。この家のリノベーションをきっかけに、七ヶ宿町の人口減少や空き家の問題などが改善されていくことを望んでいます。

課題研究 自由設計班

04番 及川 紗矢

今回私たちは、みやぎ建築未来賞に向けて作品制作をしました。「〇〇の家」をテーマに住宅を設計しました。去年一昨年と違い家という個人の空間だったので、その建物を建てるメリットや周りへ与える影響を考えるのが一番大変でした。そこで私たちは集合住宅を設計することを決めて作業を進めていきました。しかし、今までは決められた土地に決められた人数、条件のもと設計してきたので、「家」とだけ言われて一から設計するのは初めてでした。そのため、一番考えることのない土地選びに苦戦しました。ある程度家を考えていたため、その大きさに合っていて尚且つその建物をその土地に建てる理由、メリットまで考えるとなかなか決めることができませんでした。何とか建設地を決め作業に取り掛かるも、次は住宅の配置に苦戦しました。住宅を複数建てるため、日当たりのよさを考えながらバランスよく配置するのが思っていたよりも難しく、想定以上に時間がかかってしまいました。しかし、その後の外観デザインや遊具の設計は得意分野ということもありスムーズに進んだし、楽しかったです。一通り図面が終わったと思えばパネル作りが始まりました。メインの図を見せつつも課題点、提案、建物の説明などを分かりやすくまとめてレイアウトするのが大変でした。さらに、発表用のスライドも限られた時間で要点をうまくまとめ相手に伝えるというのが大変でした。ですが、このスライド発表はこの課題研究の中で一番勉強になりました。自分の伝えたいことを短く分かりやすく相手に伝えるということは、この先絶対に身につけなければならないことだと思うので、この機会に先生方から直接アドバイスをいただきながらプレゼンができてよかったと思います。自分は分かっていることでも相手の立場になって伝わりやすく文章を考える大切さを改めて学びました。この機会に養った能力を今後のプレゼンや私生活でも生かしていきたいと思えます。

05番 大内 楓翔

今回私たちは、空き家問題に着目し、「サブスクハウス～空き家の新しい価値」というテーマのもと、みやぎ建築未来賞に向けて作品を制作しました。石巻市、大崎市、仙台市の空き家を、サブスクな家としてリノベーションし、空き家問題の解決に貢献しつつ、地域の活性化を目標とした新しいモデルプランを提案しました。

初めは、3人で情報を交換し、サブスクな家のメリット・デメリット、賃貸やマンスリーマンションとの違いを調べ上げました。それぞれの得意分野を生かして役割分担をし、土地選びや図面の制作などに取り組みました。私たちが特に苦戦したのが、図面の制作とパネルのレイアウトです。私たちは、3つの空き家をリノベーションしたため、断面図まで制作することができず後悔しています。パネルのレイアウトでは、2枚のパネルにサブスクな家の特徴や3つのリノベーション後の図面などをまとめなければならないため、工夫を凝らしてレイアウトしました。パネル制作を終えた後は、発表用のスライドを作りました。発表は6分以内なので、時間内に収まるように何度も練習しました。

本番当日は、不安と緊張でいっぱいでしたが、練習の成果を十分に発揮できたと感じています。結果的に入賞することはできませんでしたが、他の学生の発表からプレゼンテーションの工夫やパネルのデザイン・レイアウトなど多くのことを学ぶことができました。

自由設計を通して、設計することの難しさや計画的に取り組むことの大切さを改めて感じました。また、先生方から直接アドバイスをいただき、多い情報量を如何に簡潔にまとめ、分かりやすく相手に伝えることの大切さも学びました。半年間の課題研究は、颯太や七翔、先生方の協力があって成し遂げることができました。大変だったけれど楽しかったです。ありがとうございました。

課題研究 自由設計班

06番 大鐘 麗奈

今年度の未来賞では、「〇〇の家を作る」というテーマで自由設計に取り組みました。

私達は、年々増えている空き家問題を取り上げ、空き家がこれ以上増えず、この地域に住みたいと思っただけのような住宅兼カフェの家を設計しました。普段外を歩いていて以前から空き家がたくさんあると思っただけなのですが、調べてみると全国的に見たときに7戸に1戸が空き家になっていることが分かりました。また、将来的には4戸に1戸が空き家になると予測されているということを知り、空き家を減らしていくことが重要だと考えました。そこで、建設予定地を大崎市の中でも人口減少数が一番多く空き家の増加数が2番目に多い岩出山にしました。制作するにあたってどうすればコンセプトにあった住宅ができるのか考えるのは大変でしたが、実際に土地を見に行ったり、岩出山について調べたりすることでその土地にあった住宅を考えることができました。夏休み前から制作に取り掛かり、時間はまだまだたくさんあると思っただけでした。しかし、実際に考え始めると土地決めをしたりコンセプトを決めたりとやることが多く期限ギリギリになってしまいました。

また、プレゼンでは、5～6分という短い時間で自分たちのプランを相手に伝えるので話す内容を考えたり話すスピードを調節したりするのが大変でした。

当日は、会場の雰囲気もあり緊張しましたが、自分たちのプランについてしっかり伝えることができたと思います。また、他校の作品を見たり、発表を聞いたりすることで建築について様々なことを学ぶことができ、とても良い経験になりました。

今回の、自由設計を通して今まで自分があまり考えていなかった社会問題について詳しく知ることができたと思います。今までの課題研究をしてきた中で学んだことを今後も生かしていきたいと思っています。

17番 佐々木 優莉奈

私たちは、「〇〇の家を作る」というテーマで、みやぎ建築未来賞に向けて住宅の設計に取り組みました。今回のプロジェクトで私たちは、「あきない家」というコンセプトを掲げ、多くの人たちに岩出山の魅力を知ってもらい、観光客や地域住民の方にこれからも「住みたい」・「住み続けたい」と思ってもらうことを目標としました。

そのために、「空かない」・「飽かない」・「高い」という3つの「あきない」を軸に考え、岩出山の地域が抱える空き家や人口減少の問題を改善しつつ、観光客と地域住民の方々が楽しく暮らせるきっかけとなるような建物を提案しました。具体的には、建物全体や季節ごとに異なるお店のメニューやコンセプトを考え、使う人にとって「飽かない」工夫をたくさん考えました。

建築未来賞の発表を終えて、たくさんの方が後悔が残りませんでした。他の方の発表を見ていて、実現できるかどうかを重視するよりも、自分たちが理想とするような夢のある建物をもっと自由に考えるべきだったと感じました。また、自分たちが特にアピールしたかったことや工夫した点を、より具体的に伝えられたらよかったと後悔しています。全体の反省点は、時間を有効的に使うことができなかったことです。パースや図面を描いて内装をわかりやすく表現しましたが、模型を作成する時間が確保できず、具体性に欠けた印象となってしまったのではないかと反省しています。

今回の経験を通して、これといった枠にとらわれず、自分が面白いと思う建物を自由に考える大切さに気づきました。また、他の方々の発表を通じて、新しい発想や表現方法を学ぶ貴重な経験となり、大きな成長のきっかけを得ることができました。

今後は、今回得た経験を活かし、さまざまな人が居心地の良いと感じる空間づくりを追求しながら、より自由に創造的な設計に挑戦していきたいと思っています。

課題研究 自由設計班

18番 菅原 七星

私たちは今回、「〇〇の家を作る」というテーマの下、みやぎ建築未来賞に向けて住宅の設計を行いました。住宅を設計するにあたり、どのようなコンセプトで行うのか、建設予定地をどこにするかなど一から自分たちで決めなければなりません。特に私たちは、なかなかコンセプトが決まらず苦戦しましたが、先生方や瑛璃奈と意見を出し合い、「夜更かしが楽しくなる家」というコンセプトで住宅の設計を行うことに決めました。

建設予定地は、宮城県刈田郡七ヶ宿町に決め、豊かな自然の中で家族が楽しく夜を過ごせるような工夫を考えました。また、ただ夜更かしを楽しむのではなく、七ヶ宿町の良さも伝えられるような家になりたいと思い、三段になっている広いルーフトラスや七ヶ宿町のヒノキを使ったヒノキ風呂などを設計しました。プレゼンボードの制作では、二人で協力して取り組み、レイアウトや内容を見やすくまとめることを心掛けました。プレゼンボードが完成してからは、プレゼンテーションの練習が始まりました。最初は、五分以内という制限に収めることや聞く人に分かりやすく内容伝えることができませんでした。しかし、先生方のアドバイスや瑛璃奈と何度も練習した甲斐があり、本番は手が震えるほど緊張しましたが、今までで一番良いプレゼンテーションを行うことができました。今回、私たちは一般社団法人日本建築士事務所協会連合会会長賞という賞を頂くことができました。二人で放課後や休日の時間も作業を行い、約半年かけて制作した作品だったため、とても嬉しかったです。今回の自由設計を通して、私は建物を設計する難しさや楽しさを学びました。今までの自由設計では自分好きな住宅を設計していましたが、今回は建てた後のその先のことや住む人のことを考えて設計したため、難しかったです。しかし、二人で納得できる住宅を設計することができ、達成感がありました。今回、賞を頂けたのは先生方や瑛璃奈のお陰です。一緒に課題研究できて良かったです。ありがとうございます♡

22番 高橋 りあ

去年、自由設計班の先輩方の発表を聴き、「私もこの方たちみたいにすごい案を考えてかっこよく発表したい」という漠然な気持ちと心構えて私は自由設計班を選択しました。結論から言うと後悔しました。夏休み明け、ボード作成の締め切りに追われ、プレゼン用のスライド作成とその原稿作成、発表練習、本番に至るまでにたくさんの締め切りに追われました。「自由設計班、選択するんじゃないかった。」期間中はその言葉を何回口にしたかわかりません。これが最初の後悔でした。そして最後の後悔は、今こうして振り返ってこの文を考えながらもっと本気で取り組めばよかった、という後悔です。未来賞に向け、かなり余裕をもって活動は開始しました。ですが、まだ余裕があるからとぎりぎりまで手を付けなかったのは紛れもなく私たち自身の判断です。もっと早くから案を練り始めてれば、もっと抜け目なく案を考えられていれば、全て終わってしまった私たちはそう後悔することしかできません。結果がすべてではないとよく言いますが、頑張った努力を認めてもらうことが頑張った人に対しての最高のご褒美であり、やりがいであり、それは何かしらの形で表されるから報われるのだと実感しました。それが今回私たちにとって、表彰されるということでした。結果は表彰されることなく終わりましたが、良い経験だったと心から思います。初めて、大規模な設計案を自分たちで一から考えて作成・発表までしました。作成にあたって、今まで考えたことのない土地の意味や、土地の風土、建物の意味など、より実践に近い形で触れることができました。辛いこともたくさんありましたが、なんだかんだ青春していたようにも思います。遅くまでみんなで学校に残ってお菓子食べながら作業したり、暗い夜道を友達と話しながら帰ったり、今思い返すと辛さや半泣きになったのも合わせて楽しかったと笑顔で話せる話題です。自由設計班を選択してよかったです。この経験を社会でも生かせればいいなと思います。

課題研究 自由設計班

23番 千葉 琥珀

私たちは、「〇〇な家」というテーマで自由設計を行いました。今までの先輩のテーマに比べ自由度が高く、理想の家を作ることができる反面、その自由さに困惑し、何をすればいいのか分からず、非常に悩みました。テーマに深みを持たせるために真面目にしすぎると面白みが欠け、逆に楽しさを重視しすぎると内容が薄くなってしまったため、とても難しかったです。「木のような外観にしよう」と決めていたものの、それにする理由を見つけないことができず困っていました。空き家問題、地球温暖化、動物保護など、色々な案が出ましたが、しっくりきませんでした。

そんなとき、二人で仙台を訪れた際の出来事を思い出しました。仙台の地下通路で、ホームレスの方を見かけたのです。その時に実際に交わした「初めて見た」「お風呂入ったりしたら普通に働けそうなのに」という会話から、働きたいのに働けないホームレスの方々を支援したいという思いが芽生え、それをテーマにすることを決めました。また、子供の貧困問題にも注目し、ホームレスの方々を従業員とした子供食堂を運営することを提案しました。私たちのテーマは、助けを必要とする人々が共に助け合いながら木々のように健やかに成長してほしいという考えが家の設計に現れています。誰もが尊重される社会になっていくことを願っています。

発表会当日は、朝早く彩羽と仙台で無事合流しましたが、自分たちの番までずっと緊張しっぱなしでした。直前でフォントが反映されないというアクシデントもありましたが先生方に助けられました。ありがとうございました。

結果発表の時、私はまさか賞が取れるなんて思ってもみなくてとても驚きましたが、彩羽が不服そうな顔をしていて再び困惑しました。彩羽は更にも上を狙っていたようです。ですが、結果的には努力が実って良かったねと安心しました。

彩羽、ありがとう。

24番 千葉 颯太

今回、私たちは近年の日本の空き家問題を取り上げ、サブスクな家として空き家をリノベーションし日本の空き家問題の解決に貢献し、地域の活性化を図るプランを提案しました。

私たちは3人のグループで自由設計に取り組みました。初めは情報交換を繰り返し、「サブスクな家」とはどのようなものか、その特徴を徹底的に調べました。作業はそれぞれの得意分野を生かして分担し、私が特に力を入れたのは平面図や立面図の作成でした。期限内に仕上げるため、協力して計画的に進めました。また、パネル作成においては、八戸先生からの助言を受け、サブスクハウスについて分かりやすく説明するとともに、3つの図面が見やすく伝わるよう工夫しました。発表練習では、初めは予定時間の6分を大幅に超えてしまいましたが、試行錯誤を重ね、何度も練習を繰り返して改善し、6分に収めることができました。本番では、スライドのトラブルなど緊張する場面もありましたが、アドリブを交えつつインパクトのある発表を心がけ、これまでの努力の成果を発揮することができました。残念ながら目標としていた入賞には届きませんでした。他の学生の作品やプレゼンテーションを通して、見る人が興味を持つ作品作りや、分かりやすく伝える力を学ぶことができました。また、東北工業大学の教授の方から「1つの家族向けの住宅だけでなく、留学生などがシェアハウスとして暮らせる住宅を設計すると更に良かった」というアドバイスをいただき、感銘を受けました。

この自由設計の経験を通じて、日本の空き家問題への関心が深まっただけでなく、グループで1つの目標を達成することの重要性や、見る人に分かりやすく伝える工夫の大切さを学びました。この経験を今後の大学での学びや自由設計に生かしていきたいと考えています。

大変だったけど楓翔、七翔と一緒に設計できて楽しかった。ありがとう。

課題研究 自由設計班

26番 千葉 苺香

今回私たちは「〇〇の家を作る」というテーマでみやぎ建築未来賞に向けて住宅の設計をしました。テーマが幅広く、どんなコンセプトにするかとても悩みました。初めに、〇〇に入る言葉をたくさん上げ、その中から自分たちが一番しっくりくるものを考えました。先生方と相談し、「あきない家」というコンセプトをもとに「住宅兼カフェの家」を提案しました。

空き家の増加、人口減少の面に注目して岩出山池月にある空き地に住宅を計画し、3つのあきないである「空かない」「飽きない」「商い」に当てはまる工夫をしてきました。どんな工夫をしたら空き家が減るか、飽きないで住み続けたいと思ってもらえるか試行錯誤してつくり上げました。

平面図を考えるにあたってたくさんの家を調べました。今まで聞いたことがないスペースの名称があったり、材料による工夫があったりして私自身も勉強になりました。

「あきない家」を建てることによって、多くの人に岩出山の魅力を知ってもらい、観光客や地域住民の方に住みたい・住み続けたいと思ってもらうことを目標としました。また、空き家が増えずに地域や環境に優しい建築が増えてほしいです。

私たちは、パネルの作成、平面図・立面図・断面図・パースの作成、発表会用のスライド作成など毎日遅くまで作業に追われていました。役割分担を上手くできなかつたり、意見が合わなかつたりしましたが、3人が納得できるいい作品ができたと思います。

今回の自由設計を通して、設計することの大変さ意見を出し合うことの大変さを改めて感じました。さらに、時間の使い方もとても大切だと作業していて思いました。後回しにしてしまい、大変な思いをしてしまったので反省しています。

たくさんの人のおかげで今回の作品を作り上げることができたと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。また、私たちが考えたように、空き家に関する問題が減少するよう願っています。

32番 平吹 七翔

私たちは、空き家問題を取り上げ、「サブスクハウス～空き家の新しい価値～」というテーマのもとに石巻市・仙台市・大崎市の空き家をサブスクな家としてリノベーションし、宮城県の空き家問題に貢献しつつ、地域の魅力を伝える新しいモデルプランを提案しました。

初めは、3人で情報交換を繰り返し、サブスクな家の特徴や賃貸との違いなどを調べ上げました。私たちが特に苦戦したのは図面の制作です。私たちは3つの空き家の平面図や立面図を制作しなければなりませんでした。それぞれの得意分野を生かし、3人で図面を分担して期限までに上げることができました。切羽詰まった状態で図面の制作に取りかかったため、断面図の制作ができず後悔しています。私たちが一番力を入れたのは、パネルのレイアウトです。3つの空き家のリノベーションとなるとパネルに内容をまとめるのが大変で、これまでの作品を参考にしながら試行錯誤しました。発表は6分以内なので練習の段階で時間内に収まるよう何度も何度も練習しました。本番はインパクトを残すためアドリブを入れるなどの工夫を行いました。とても緊張しましたが、これまでの成果を発揮できたと感じています。結果的に入賞することこそできませんでした。ほかの学生の作品からプレゼンテーションの工夫や、考えをまとめてわかりやすく伝える力を学びました。

自由設計を通して、空き家の利用価値だけでなく、グループで協力して1つの目標を達成することの大切さを学びました。また、石巻市・大崎市・仙台市だけでなく、日本中の空き家もリノベーションなどによって地域が活性化され、日本の空き家問題が解決されることを望んでいます。この6か月間の設計は必ず今後の糧になるので大学でも精進していきたいです。

大変だったけど3人での自由設計楽しかったよありがとう。

課題研究 自由設計班

34番 三浦 彩羽

今回私たちは、「〇〇な家」というテーマの中で設計を行いました。縛りが少ないテーマだったため設計するにあたって、どこから考え始めるべきなのかとても悩みました。しかし、先生方からアドバイスをいただき話し合いを重ねて、自分たちの納得のいく作品を作り上げることができました。

私たちは仙台市でホームレスの方々を見たのをきっかけにホームレスの方々について調べ始めました。また、こどもの貧困率にも注目しこの2つの問題を解決できる家を目指しました。そして決定したテーマが「成長する家」です。ホームレスの方々を従業員とした子ども食堂を開設し、そこで一人一人が成長し社会復帰への第一歩を手助けします。一階には子どもたちが利用できる浴室や、二階にはホームレスの方々に仕事を提供するための情報スペースを設けるなどの居住環境を整えました。私たちが設計した住宅は木をモチーフにしており平面が六角形になっています。今までに設計したことがない形で必要な居住スペースも多くあったためとても悩み苦戦しました。しかし最終的には自分たちの理想と考えをしっかりと形にすることができたので良かったです。

本番当日、発表前はとても緊張したのですが審査員の前に立つと「もうやるしかない」と前向きな考えに変わり強い気持ちで挑むことができました。発表は失敗することなく終え、宮城県教育長賞という素晴らしい賞もいただきました。うれしさはもちろん、授業だけでなく夏休みや放課後も使い今まで頑張ってきたことへの達成感が感じられる瞬間でした。

課題研究の授業が半年間の活動と聞いたときは長く感じましたが、今思えばとてもあっという間でした。そしてこれは人生においても貴重な経験になったと思います。ここで学んだことを忘れず次に活かしていきたいです。一緒に活動してくれた琥珀、ありがとう。

36番 渡辺 瑛璃奈

今回私たちは、「〇〇の家をつくる」というテーマで自由設計に取り組みました。テーマだけを聞くと簡単なイメージに聞こえますが、今まで授業でしてきた自由設計とは異なり、グループで意見を出し合い、協力して作業をするのが大変だと改めて思うことができました。

私たちは最初に人口減少の問題について考えました。東北で一番人口減少が進んでいる七ヶ宿町に着目し、移住してきた家族をターゲットにしました。七星と先生方とたくさん考え、「夜更かしが楽しくなる家」のテーマまでたどり着くことができました。日々の夜が楽しくなるようにシアタールームや季節に応じたルーフトラス、そして七ヶ宿の木を使用したヒノキ風呂にするなど七ヶ宿町の魅力を設けた、素敵なお家を作ることができました。間取りを作成するのは、とても大変でしたが、実際に自分が住みたいと思えるような納得のいく間取りにすることができました。プレゼンテーションを作成するときも相手が一度で理解ができ、心に残ることを目標に作成しました。夏休みや休日、放課後を使い、長い時間自由設計に取り組んでいたのも、作品が完成した時は、達成感と喜びでいっぱいでした。

発表当日は、とても緊張しました。今まで練習してきた成果を出し切り、失敗なく成功で終わることができました。審査員の方にも私たちの考えを伝えることができ満足の行く作品を発表することができました。また、ほかの工業高校、専門学校での発表を聞き、学ぶことが多くとても勉強になりました。結果は、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会会長賞をいただき、とてもうれしく、また私たちの作品に自信を持つことができました。

課題研究の授業が始まって半年、今思えばとてもあっという間でした。大変でやめたいと思うことが何度かありました。しかし、七星と先生方の協力でここまで来ることができました。たくさんの感謝を伝えたいです。